

## 熊本の「新型コロナウイルス関連倒産」50件に ～九州・沖縄で2番目に到達、小売業者の倒産は22件～

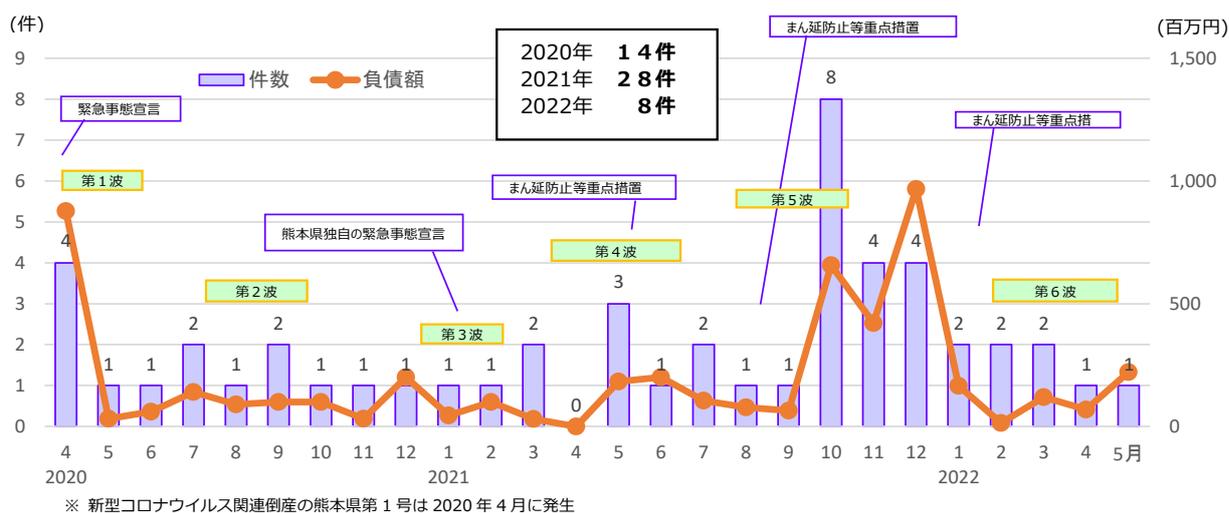
### 調査結果

2022年5月10日16時現在、新型コロナウイルスの影響を受けた倒産（法的整理または事業停止（銀行取引停止処分は対象外）、負債1000万円未満および個人事業者を含む）は熊本県で50件（法的整理46件、事業停止4件）が確認された。1億円未満の小規模倒産が37件（構成比74.0%）を占める一方、負債5億円以上の倒産は2件（同4.0%）にとどまっている。

2020年は14件、2021年は28件と発生ペースは上昇しており、2022年に入ってからコロナ関連倒産は継続的に発生している。

2022年に入ってからの変異株「オミクロン株」が猛威を振るい、熊本県では1月21日に新型コロナウイルス対策のまん延防止等重点措置が再び適用された。その後一旦収束を示して3月22日に解除となったが、早くも感染「第7波」到来が懸念されており、こうした一進一退を繰り返す感染状況が経済正常化への機運に影を落としている。また、燃料や様々な資材価格の高騰による影響も依然として、引き続き「新型コロナ関連倒産」の動向には注視する必要がある。

熊本県「新型コロナウイルス関連倒産」月別発生推移



### 【発生月別】

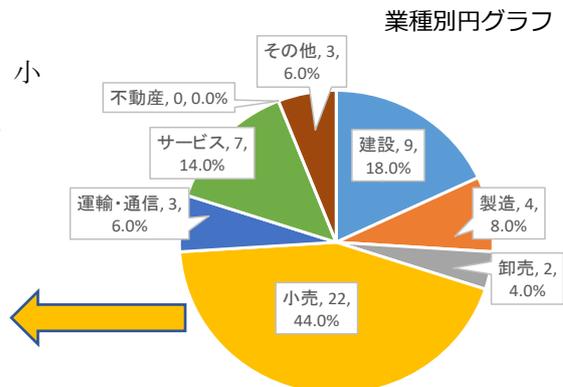
感染の拡大と収束を繰り返す新型コロナウイルス感染症による影響で2021年5月以降はコロナ倒産が継続的に発生している。なかでも2021年10月においては感染第5波到来の影響で、最多の8件が発生した。

【業種別】

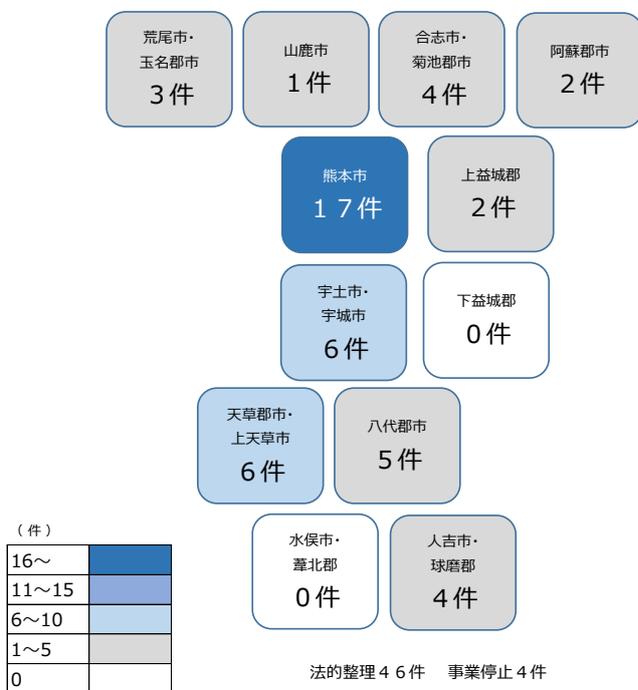
業種別では「小売」が22件（構成比44.0%）に。小売のうち業界別では「飲食店」が8件（同36.4%）。

小売内訳

飲食店	8件	36.4%
食品小売	6件	27.3%
その他小売	5件	22.7%
衣服小売	2件	9.1%
各種商品小売	1件	4.5%



熊本県「新型コロナウイルス関連倒産」マップ



【地域別】

地区別の累計件数（5月10日時点）では「熊本市」の17件が最多で全体の34.0%を占めている。

■新型コロナウイルス関連倒産について

「新型コロナウイルス関連倒産」とは、原則として新型コロナウイルスが倒産の要因（主因または一要因）となったことを当事者または代理人（弁護士）が認め、法的整理または事業停止（弁護士に事後処理を一任）となったケースを対象としている。個人事業主および負債1000万円未満の倒産もカウントの対象としているほか、事業停止後に法的整理に移行した場合、法的整理日を発生日としてカウントしている。

負債5億円以上の新型コロナウイルス関連倒産

企業コード	商号	市区郡	業種	負債(百万円)	態様
681017376	九国ベジフル株式会社	菊池郡	野菜・果実加工卸	874	破産
870207313	人吉観光交通株式会社	人吉市	結婚式場、ホテル、レストラン経営	700	破産

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 熊本支店 調査第1課 柴田 善行  
TEL 096-324-3344 FAX 096-354-4787

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。